

サクラマスの水揚げに大いに期待！ ～平成23年度サクラマス幼魚（スマルト）放流式～

5月19日（木）、老部川内水面漁業協同組合（相内軍司組合長）のサクラマスふ化場で、村内各漁協をはじめ県・村関係者等60名出席のもと、サクラマス幼魚（スマルト）放流式が行われました。

この放流事業は、主に沿岸海域でのサクラマスの水揚げ増大を図ろうと、昭和60年のサクラマスふ化場完成とともに毎年実施しているものです。

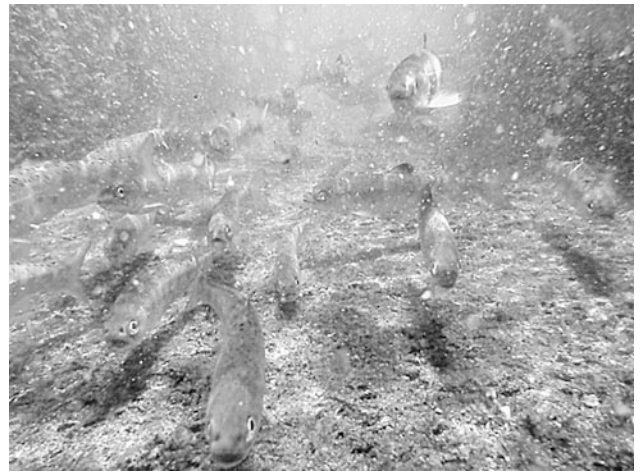
今回のサクラマス幼魚（スマルト）は、平成21年8月中旬から10月上旬にかけて老部川に遡上した親魚から採卵し、ふ化してからおよそ1年6ヶ月間当ふ化場で飼育した、平均尾叉長13.1センチ、平均体重23.5グラム程度の幼魚32,116尾が放流されました。

なお、今年の放流予定尾数は春放流幼魚60,116尾、春放流稚魚100,000尾、秋放流稚魚50,000尾の計210,116尾となります。

平成23年1月には新たに稚魚養魚池も完成し、今後もサクラマス幼魚や稚魚放流を継続的に増産し、沿岸海域での水揚げの増大と河川回帰の増大に向け、大いに期待がもてるものと思われます。



関係者による放流



放流されたサクラマス幼魚（当日の水中写真）

決勝戦は白糠勢対決！ ～第35回春季選手権大会～

5月15日（日）、東通中学校野球場において、第35回春季野球大会が行われました。

大会には4チームが参加し、決勝戦は白糠のチーム同士の対決となりましたが、接戦の末、白糠クラブAが見事栄冠を手に入れました。



【試合結果】

1回戦	白糠クラブA	5	—	0	入口剛球
	日鉄尻屋	0	—	5	白糠クラブB
決勝	白糠クラブA	3	—	2	白糠クラブB
	(白A) 村田、東田—伊勢田(一)、田中				
	(白B) 坂本(真)—伊勢田(貴)				
	二塁打—佐藤(貴)、伊勢田(道)、川原田				

最優秀選手賞

大森雅也（白糠クラブA）

優秀選手賞

坂本真澄（白糠クラブB）